

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（全国）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成20年	平成19年	対前年増減	平成20年	平成19年	平成20年	平成19年
出 生	1,091,156	1,089,818	1,338	8.7	8.6	分 秒	分 秒
男	559,513	559,847	-334	9.1	9.1	29"	29"
女	531,643	529,971	1,672	8.2	8.2	57"	56"
死 亡	1,142,407	1,108,334	34,073	9.1	8.8	59"	1' 0"
男	608,711	592,784	15,927	9.9	9.6	28"	28"
女	533,696	515,550	18,146	8.3	8.0	52"	53"
(再掲) 乳児死亡	2,798	2,828	-30	2.6	2.6	59"	1' 1"
新生児死亡	1,331	1,434	-103	1.2	1.3	188' 22"	185' 51"
自然増加	-51,251	-18,516	-32,735	-0.4	-0.1	395' 58"	366' 32"
死 産	28,177	29,313	-1,136	25.2	26.2	…	…
自然死産	12,625	13,107	-482	11.3	11.7	18' 42"	17' 56"
人工死産	15,552	16,206	-654	13.9	14.5	41' 45"	40' 6"
周産期死亡	4,720	4,906	-186	4.3	4.5	33' 53"	32' 26"
妊娠満22週以後の死産	3,751	3,854	-103	3.4	3.5	111' 40"	107' 8"
早期新生児死亡	969	1,052	-83	0.9	1.0	140' 30"	136' 23"
婚 姻	726,106	719,822	6,284	5.8	5.7	543' 44"	499' 37"
離 婚	251,136	254,832	-3,696	1.99	2.02	44"	44"
						2' 6"	2' 4"

	平成20年	平成19年
合計特殊出生率 2)	1.37	1.34
年齢調整死亡率 3) 男	5.6	5.6
女	2.8	2.8

- 注:1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。